

## 古田足日と子どもの文化をめぐる総合的考察 一蔵書・資料のデータベース化、調査を基に

仲本 美央・鬼頭 七美・高田 文子・井原 哲人

### 研究・活動実績の概要

2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた時期は大きかったものの2020年度の文献ならびにインタビュー調査を引き続き、進行していった状況にあった。さらに、古田足日の文学観や思想を知るべく、評論と創作を題材として研究分担者による研究会を3か月に1度ペースで定期的に開催し、情報交換を行った(別表2)。また、白梅学園大学に寄贈された古田足日の蔵書資料の精査に当たり、前年度作成した入力項目のフォーマットを一部改変し、書籍やファイル、ノート類の情報を入力する作業を、毎月5～8回のペースで行った(別表1)。結果、現在のところ約3000点を超える書籍等のリストアップが完了した。また、白梅学園大学・短期大学名誉学長である汐見稔幸氏、児童文学評論家・日本児童文学者協会理事長である藤田のぼる氏、子どもの文化研究所事務局長である鈴木孝子氏へインタビュー調査を敢行した(別表3)。これら文献ならびにインタビュー調査は白梅学園大学・短期大学図書館報「花みずき」第36号(2022・4・1)に紹介された。研究会での論考をもとに、5月の日本保育学会第74回大会において、研究代表者の仲本美央と研究分担者の高田文子による学会発表が行われた。この内容は「『おしいれのぼうけん』の制作過程にみる古田足日の絵本観」「『ロボット・カミイ』シリーズの制作過程にみる古田足日の紙芝居観」と題して2つの研究が発表された。また、同じ研究会での論考をもとに、研究分担者の鬼頭七美によって「〈子ども〉をいかに捉えるかー古田足日と80年代子ども論ー」と題して論文化され、白梅学園大学・

白梅学園短期大学子ども学研究所研究年報26に掲載された。

また、白梅学園大学・白梅学園短期大学子ども学研究所編集『子ども学』第10号(2022年5月)にて、仲本と研究分担者の鬼頭七美、研究協力者の佐藤宗子による本プロジェクトの報告を掲載している。

仲本「『古田足日』の子どもへのまなごしの意味を問う」では当該研究の目的、調査の意義に関して、佐藤「古田足日資料の整理状況について」では白梅内で行っている文献整理作業の詳細について報告をしている。また、鬼頭による論文「古田足日と国語教科書ー『モグラ原っぱのなかまたち』を中心にー」では、古田自身の児童文学作品が小学校国語教科書に長く掲載され続け、自らも小学校国語教科書の編集を努めた古田足日の小学校国語教科書観を明らかにするとともに、国語教育観をも浮き彫りにした。古田が文学作品を教科書に掲載する際に、作品を切り刻みダイジェスト化されることを批判して全文掲載を求めたことに注目し、原作の持つ、物語のリアリティを担保する細部の描写の力に対する古田の信頼について、古田の教科書掲載作品である『モグラ原っぱのなかまたち』を通して分析した。

### 【別表1】

文献調査作業日 (2021年4月～2022年7月)

	AM	PM	合計
2021年 4月	1回	3回	4回
5月	6回	4回	10回
6月	1回	1回	2回
7月	3回	4回	7回
8月	1回	2回	3回

9月	2回	1回	3回
10月	1回	1回	2回
11月	2回	2回	4回
12月	1回	1回	2回
2022年 1月	4回	5回	9回
2月	5回	3回	8回
3月	4回	3回	7回
4月	2回	2回	4回
5月	2回	3回	5回
6月	4回	2回	6回
7月	2回	3回	5回

※コロナウイルス感染防止対策のために、AM 10:00～12:00 / PM 13:00～15:00に分けて作業を行った。(学外者が入構する日は、学内者が同席のもとで作業を行っている。)

※2022年1月より小林夏美氏(聖学院大学、帝京大学非常勤講師)に研究補助者として文献調査作業に従事いただいた。4月以降は子ども学研究所客員研究員として当該プロジェクトに参画。

#### 【別表2】

プロジェクト会議日等(2021年4月～2022年7月)

活動日時	内容
2021年8月1日(日) 14:00～	『子ども学』打ち合わせ
2022年3月25日(金) 10:00～	会議・全体打ち合わせ
2022年4月24日(日) 13:00～	会議・全体打ち合わせ

#### 【別表3】

インタビュー調査 (2021年4月～2022年7月)

インタビュー日時	対象者
2021年10月6日(水) 18:00～	汐見稔幸氏
2021年11月28日(日) 15:00～	藤田のぼる氏
2021年12月15日(水) 20:00～	鈴木孝子氏
2022年4月26日(火) 16:30～	川北亮司氏、増山均氏
2022年7月30日(土) 14:00～	山田富秋氏
2022年7月31日(日) 10:30～	大西フジ子氏

白梅学園大学・白梅学園短期大学子ども学研究所編集『子ども学』第10号(2022年5月)

「子ども学研究所報告① 古田足日研究プロジェクト」

仲本美央「「古田足日」の子どもへのまなごしの意味を問う」pp.146-148.

佐藤宗子「古田足日資料の整理状況について」pp.149-151.

鬼頭七美「古田足日と国語教科書—『モグラ原っぱのなかまたち』を中心に—」pp.152-179.